

カーボンオフセットで活用されるJ-VERクレジットを、北海道知床半島への入り口にあたる標津町の森林管理から産み出しました。標津町の農地を守る防風林や、サケのふるさとの川を守る河畔林などの森林を、健全に育成するために標津町・標津町森林組合が実施した間伐事業から得られた森林によるCO2吸収クレジットです。

本プロジェクトは環境省オフセット・クレジット(J-VER)の森林経営活動によるCO2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)となります。町有防風林であるカラマツ、アカエゾマツ、トドマツ人工林で、2007年～2009年に間伐を行った135haにおけるCO2吸収量の増大について、J-VERクレジット発行を行いました。皆様の環境CSRのツールとして、本J-VERクレジットの活用をご検討下さい。

プロジェクトの実施場所	北海道標津郡標津町
吸収量(予測)	—
在庫量	2008年4月～2010年12月 1,302 t-CO2 (発行済)
クレジットの次回発行予定	—
1t-CO2あたりの希望単価	¥13,000 ～

1 標津町の森林づくりの特徴

標津町は、北海道大学農学研究院との連携協定締結など研究機関と連携して調査事業を展開し、それに基づく独自の森林管理計画を持つ、全国でも数少ない先進自治体です。

また、平成24年6月からは根釧東部管理署と保全協定を締結し防風林や河畔林等の連携した整備と保全にも取り組んでいます。

標津町は、北部に世界遺産指定された知床連山の山並み、中央部には北海道遺産に指定された「根釧台地の格子状防風林」と豊かな自然環境に恵まれ、全国有数の水揚げを誇るサケのふるさとの町です。防風林の育成は、防風機能を高め町民の生活や農地を守るとともに、ヒグマの移動の場や野鳥の棲家など野生動物保護にもつながります。また防風林は河畔林機能も有し、サケのふるさとの森林として河川環境、サケやそれら取り巻く生態系を守る生物多様性保全へとつながります。

2 購入者に提供可能なサービス

今回のクレジット(J-VER)販売で得られた資金は、サケのふるさと



の森林(知床の森)の間伐や植栽経費として使わせていただきます。このようにサケのふるさとの森林の維持・造成に使用することで、CSR、企業イメージの向上にお役に立てると考えます。

またプロジェクト実施地等において、植林体験や間伐体験など購入者の皆様の社員研修の場として利用していただくことができます。



サケのふるさとの防風林と知床連山の山並み



町民との協働の植樹祭



大学との連携した調査事業

■担当者連絡:北海道標津町 滝本

TEL: 0153-82-2131

EMAIL: shinrinkumiai@shibetsutown.jp